

基礎技術研修(水文)について

1. 概要と実施内容

今年度の第2段として、「水文観測の基礎について」の研修を実施した。

(1)期間 平成27年10月26日(月)～10月27日(火)

(2)受講者数 12名(事務所係員8名、ダム関係係員4名)

2. 研修内容

河川計画等と水文観測の関係、水文観測の概要、雨量・水位観測機器と保守点検、流観実習(低水・高水)、H-Q作成実習

3. 主な実施状況・内容

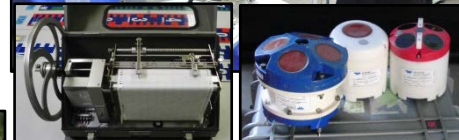
(1)河川整備基本方針等に用いられる水文データ

水文データが河川の基本的な計画の中で重要な役割を果たしている事について説明しました。

(2)水文観測概論 河川関係業務と水文データの関わり、水文観測の歴史、水文観測の概要について講義を行いました。

(3)雨量・水位・流量観測の基礎と保守 観測機器の原理と保守について講義、及び雨量計・水位計の実物にて保守体験を実施しました。

(4)流量観測(高水・低水)実習 高水流観(浮子観測)・低水流観(電磁流速計)・ADCP観測について講義、及び各人毎の高水・低水流観実習と電波流速計・ADCP機器の見学を行いました。



(5)H-Q作成実習 H-Q曲線の作成方法について講義を行った後、実河川データからH-Q作成実習及び発表、議論と講評を行った。

